



←地図はこちら



【理念】	ともに育ち ともに学び えがおいっぱいまいにち	住所	鹿児島市星ヶ峯 2丁目11番10号	営業時間	8:30~17:30
【めざすこども像】	「物事に興味や関心もち、考えるこども」 「運動遊びを通して体幹を育て、心身共に健康で丈夫な身体を持つこども」 「友だちとの関わりの中でコミュニケーション能力を身につけ、相手を思いやる心を持つこども」 「自然や生き物に触れ、興味関心を持つ感性豊かなこども」	定員	10名	サービス提供時間	13:00~17:00
		営業日	・月曜日～金曜日 ・土曜日（不定期）	送迎実施の有無	あり *お気軽にご相談ください

ICF（国際生活機能分類）モデル



発達課題を5つの領域に分けた小集団活動を行います。5領域から個々に合わせた個別支援計画を設定し、お子さんの発達段階やペースに合わせ、できた経験を積み重ね、育ちに必要な力を伸ばし高めていけるように組み立てていきます。

～放課後等デイサービス～

挨拶ができる・時間が守れる  
周りの状況に則して共働できる等の  
自立・将来に向けて必要なスキルを  
身につけていけるよう支援の工夫を  
重ねてまいります。

本人支援の5領域

【本人支援】はこどもの成長発達の側面から5領域にまとめられ、これらの支援内容はお互いに関連したり、重なりあっています。

「自立支援と日常生活の充実のための活動」・「体験的な活動や遊び」  
「地域交流の機会の提供」・「こどもが主体的参画できる機会の提供」の  
4つの基本活動を複数組み合わせる支援を行います。

健康状態

健康・生活

- ・大人や友達とのやりとりを楽しめるよう職員が援助し、お子さんが安心して過ごせる場所を提供します。また、複数の部屋を使ったり、個人の空間を用意したりして、お子さんが自分のことに集中しやすい環境を作ります。
- ・自分たちで栽培した野菜を収穫し、生涯にわたって健やかに生きるための基礎となる「食の大切さ」を学びます。クッキング等で、作る楽しさや日常生活で工夫し活用する能力を育てます。
- ・わらべうたを通し、「自分が（存在して）いる」ということを認識し、他の人から認められたことなどで、自己肯定感を高められるよう支援します。
- ・お子さんの意向を受け止めながら、どのような生活をしていきたいか（ねがい）の組み立てを支援します。

心身機能・構造

活動

参加

運動・感覚

- ・着席して活動する時間と、思いきり身体を動かして遊ぶ時間を設けます。体幹を高められるような活動を行います。
- ・文字をなぞったり書いたりすることや、迷路、道具を使った制作活動などを通じて、目と手や体を一緒に動かす練習をします。
- ・畑を耕したり、草むしりをしたり、収穫することで自然に触れ、自然の中で身のこなし方などの感覚を養います。
- ・わらべうたを通し、運動能力やリズム感を高めます。他の子どもと合わせてリズムを取る遊びで、繰り返し行うことによって周りに合わせることや、その時のリズムに合わせるといったことを身につけることができます。

認知・行動

- ・具体的な物や絵カードを使った課題などで、数の操作、形、長さ、大きさ、時間などの概念を学びます。
- ・時間を意識して自ら行動することを支援します。
- ・ルールを聞いて行動する、時間、日付、時系列の概念や色・形、数字、左右などの概念、外出先で信号や横断歩道のルール、順番に並ぶ等の概念の獲得と望ましい行動を獲得できるよう支援します。
- ・さまざまな場面で変化する感情を可視化しながら、感情を上手にコントロールする力を身につけていきます。
- ・わらべうたを通し、社会性・認知機能の発達を促します。
- ・「好きなこと」を尊重し、「楽しい体験」を通して、仲間や自分を好きになり、新たなチャレンジに向かえる支援をします。「自分にはいいところがいっぱいあること」を体験できる支援をします。

言語・コミュニケーション

- ・生活の中で自分自身を大切にするために必要な行動を、適切な場面で発揮できるよう支援します。
- ・お子さんの特徴やニーズに応じて、絵カードや身振りや文字を使ったコミュニケーション手段を活用します。文字で表したり、文字を読んで理解したりする力をつけます。
- ・集団の活動の中で、「（なかに）入れて」「貸して」と言って相手の返事を待つ、「いいよ」と応じる、「今使ってるよ」「あとでね」と断るといった友達とのやりとりがスムーズにできるよう支援します。
- ・わらべうたを通し、言葉・概念を身につけます。歌詞の口真似がしやすいものや言葉遊び、数を意識した歌詞の特徴を活かして、コミュニケーションスキルや数の概念などを感覚的に身に付けることができるよう促します。

人間関係・社会性

- ・グループ活動や、集団での遊びを通して、順番やルールを守る、友達と協力する、失敗や負けを受け入れるといった、他者と一緒に生活していくために必要なスキルを身につける機会を作ります。
- ・友達との関わり方に関して、職員が見本となったり、助言したりして、肯定的な関わりが増えるよう支援します。また、協力して一つのことを成し遂げる感覚を獲得し、他者と同じ体験を共有し一体感を感じられるように支援します。
- ・お子さんの強みをたくさん見出し肯定的な働きかけをすることで、社会のなかでその人なりに過ごす経験を積み重ね、活動の幅を広げられるよう支援します。
- ・わらべうたなどを通し、人との触れ合い・愛着形成が促進されるようにします。暖かいリズムの中で肌や心に触れ合うことで、こどもの愛着形成を育むことに繋げていきます。

個人因子

体験・経験<行事>

- ・外出支援にて社会資源を活用した社会体験や経験を活かした環境作り
- ・発達の成長に合わせた体験
- ・将来を見据えた社会的スキル習得、工場見学など



環境因子

家族支援

- ・子どもの発達状況や特性の環境に向けた相談援助
- ・子育ての困りごとへの相談援助
- ・保護者同士の交流の機会提供
- ・兄弟姉妹への相談援助

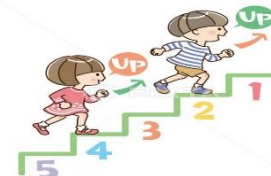


職員の質向上

- ・職員のキャリアアップ研修、専門研修など
- ・虐待防止、身体拘束等の研修や内部研修の実施など

移行支援

- ・将来的な移行を見据えた目標や支援内容の設定
- ・移行先の選択への相談援助や情報提供
- ・併行利用先や園、幼稚園との情報共有や支援のすり合わせ



地域支援・連携

- ・併行利用先や園、幼稚園との情報連携や調整、支援方法や環境調整の相談援助
- ・相談支援事業所との支援の連携
- ・医療機関との情報連携や調整
- ・関係機関や他事業所との連携
- ・防災を含めた地域住民や関係機関との連携
- ・行事や実習の受け入れ等、地域住民との交流

